

4. 各学年の道徳授業

1年生

1. 主題名 相手を思いやる心【思いやり】

2. 教材名 二わのことり

みそさざいは、やまがらの家へ行こうか、うぐいすの家へ行こうか迷う。うぐいすの家は、明るくて綺麗なところで、みんなが集まり御馳走がある。一方、やまがらの家は山奥のさびしいところであって、誰も行かない。迷ったみそさざいは、うぐいすの家に行くのだが、楽しくない。うぐいすの家をそっと抜け出してやまがらの家に向かうと、大喜びのやまがらに迎えらる。

3. ねらい

迷いながらもやまがらの家に飛んで行ったみそさざいの心の動きと決断について考えることを通して、友達に親切にすることのよさに気づき、友達に思いやりをもって接しようとする道徳的心情を育む。

4. 授業の様子

担任の話聞いた後、みんなと一緒にうぐいすの家に行ってしまったみそさざいの気持ちに焦点を当てて考え、話し合った。御馳走があつてうれしいと思う気持ちと、やまがらのことを思うと楽しくなくなってしまう2つの気持ちが出てきたが、やまがらが一人ぼっち、というキーワードが出たところから大きく流れが替わり、児童の意見はやまがらを思う気持ちに大きく動いた。



5. 授業後の感想（児童のノートより抜粋）

- やまがらは、一人ぼっちだったから、みそさざいが、行ってあげてよかったです。
- やまがらと、みそさざいは、これからもずっと仲良しだと思います
- 今日の学習で、一人ぼっちになっているお友達がいたらわたしもこれから仲よくしようと思いました。
- みそさざいが、行ってあげてよかったです。ほかのみんなも一緒に行こうと誘ったらよかったですと思います。

6. 今後の思いやりについての指導

1年生はまだまだ幼児期の自己中心的な考えをもつ児童もいるが、入学してからおよそ1年、学級で共に生活し、一緒に勉強したり仲よく遊んだりした友達に対する思いやりの心が育ってきている。学年末に向けて学級のお楽しみ会などを計画したり実施したりする中でさらに思いやりの心の良さや大切さについて気付かせ、深めさせたい。